

多次元データ分析プログラム HITSENER5

HITACHI

Inspire the Next

品名	製品概要	標準価格*2	
		税込	税抜
HITSENER5 Professional	システム管理と分析業務の兼任者向けの製品です。データベースから分析に必要な情報を選択し、分析者のニーズに合った分析環境を構築可能。分析機能もあるため、このツールのみで環境設定から分析までを行うことができます。機能として環境設定機能(マネージャ)と多次元分析機能(アナライザ)があります。	¥409,500	¥390,000
HITSENER5 Standard	分析担当者や一般使用者向けの製品です。システム管理部門が提供する分析環境で、自由にドリルダウン、スライス、ダイス、ドリルスルーなどの分析ができます。機能として多次元分析機能(アナライザ)があります。	¥115,500	¥110,000
HITSENER5 Web (CPUライセンス*1)	Web環境で分析システムを構築するための製品です。CPUライセンスと接続ライセンスがあり、お客様の業務形態によってお選びいただけます。HITSENER5 Professionalを同梱しています。	¥1,575,000	¥1,500,000
HITSENER5 Web (接続ライセンス*1)	Web環境で分析システムを構築するための製品です。CPUライセンスと接続ライセンスがあり、お客様の業務形態によってお選びいただけます。HITSENER5 Professionalを同梱しています。	¥840,000	¥800,000
HITSENER5 Local Data Option	HITSENER5の付加PPです。ローカルキューブの作成・保存を可能にします。	¥105,000	¥100,000
HITSENER5 Personal	分析担当者や一般使用者向けの製品です。スタンドアロン環境でローカルキューブを利用して分析できます。	¥105,000 (5ライセンス分)	¥100,000 (5ライセンス分)
HITSENER5 Portal Option for Cosminexus*3	HITSENER5で作成した分析結果を、Webサーバを通して企業ポータルに情報発信できる機能です。Cosminexus Portal Framework上で動作する製品です。	¥525,000 (1CPU)	¥500,000 (1CPU)
HITSENER Data Mart Server	HITSENERの分析環境構築を支援するデータマート運用支援システムです。	¥2,625,000*4	¥2,500,000*4
Hitachi OLAP Components	HITSENER5の各機能をコンポーネントとして提供します。APPGALLERYやVisual Basicで利用できます。	¥220,500	¥210,000

*1 接続ライセンスは、Webサーバに同時にアクセスするユーザー数をベースとした価格体系です。CPUライセンスは、HITSENER5 Webを構成するサーバマシンに搭載されているCPU数の合計をベースとした価格体系です。Webサーバにアクセスするユーザー数の制限はありません。

*2 標準価格は1ユーザー価格。別途、ライセンスパック価格があります。

*3 前提ソフトウェア / Cosminexus Application Server Version 5 05-00以降またはCosminexus Developer Version 5 05-00以降
Cosminexus Portal Framework 02-00以降
Sun Java™ System Directory Server 5.1以降
(分析機能を利用する場合) HITSENER5 Web 02-00以降

*4 HITSENER Data Mart Server/BS(データマート運用支援システム / 基本)の価格です。

仕様	
稼働環境	Windows Server™ 2003, Windows® XP, Windows® 2000, Windows NT® 4.0, Windows® 98, Windows® 95, Windows® Me
RDB	HiRDB, XDM/RD, ORACLE, Microsoft® SQL Server
多次元DB	Cosmicube
大福帳型DB	DIAPRISM

サービス商品
問い合わせサービス
環境構築支援サービス
操作教育サービス
構築/運用コンサルティングサービス など

・DataStageは、IBM Corporationの商標です。
 ・DIAPRISMは、三菱電機株式会社の登録商標です。
 ・Sunは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 ・Microsoft, Windows, Visual Basic, Windows Serverは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標です。
 ・Microsoft Internet Information Server, Microsoft Internet Explorer, Microsoft SQL Server, Microsoft Excelは、米国Microsoft Corp.の商品名称です。
 ・ORACLEは、米国Oracle Corporationの登録商標です。
 ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

製品に関するお問い合わせ

HMCC
 (日立オープンミドルウェア) 問い合わせセンター
☎ 0120-55-0504
 利用時間9:00~12:00 13:00~17:00【土・日・祝日・弊社休日を除く】
E-mail : i-biz@itg.hitachi.co.jp

情報提供サービス

インターネットで製品情報がご覧いただけます。
<http://www.hitachi.co.jp/soft/hitsenser5/>

株式会社 日立製作所

ソフトウェア事業部 〒244-8555 横浜市戸塚区戸塚町5030番地

北海道支社 (011) 261-3131 北陸支社 (076) 433-8511 中国支社 (082) 441-4111
 東北支社 (022) 223-0121 四国支社 (087) 831-2111
 関東支社 (03) 3258-1111 中部支社 (052) 243-3111 九州支社 (092) 852-1111
 横浜支社 (045) 451-5000 関西支社 (06) 4616-1111

製品仕様は、改良のため変更することがあります。
 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。
 本カタログに掲載しております価格は、2006年7月現在のものです。

CA-177T 2006.7
 Printed in Japan(H)

情報資産を、即、分析。 HITSENER5

uVALUE with Harmonious Computing

本カタログはAdobe社Acrobatにより製作したPDFカタログです。All Rights Reserved, Copyright © 2006, Hitachi, Ltd.

情報提供者主体のシステムから、

ビジネスの現場で日々蓄積される多種多様なデータ。しかし、データはそのまま寝かしておいてもビジネスに活かすことはできません。必要なのは、さまざまな観点からデータを分析すること。そして、その結果を次のビジネスアクションを決定するための情報資産として活用することです。

情報活用者主体のシステムへ。

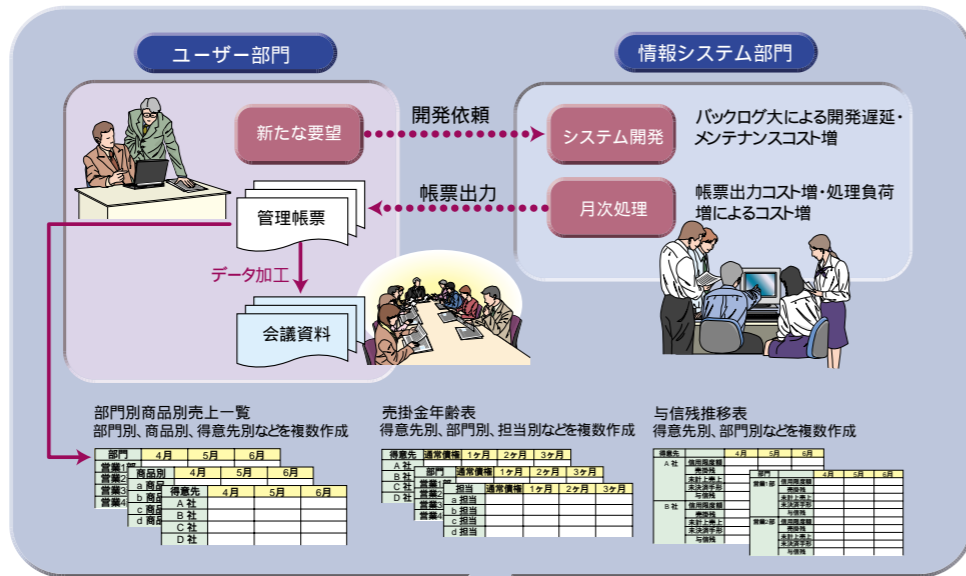
HITSENER5は、データベースに蓄積されたデータを、より多くの視点から分析するための多次元データ分析ツール。データの整備・加工・提供など、これまで情報システム部門の手を煩わせていた手続きを必要とせず、ビジネスの最前線にあるエンドユーザーがスピーディーかつ個々のニーズに最適な形で、データを手出し、分析・活用する。そんな、実際に情報を活用する人自身が「主役」となる新たな仕組みを実現します。すべてのビジネスマンに時代の切り札を。選ぶなら、HITSENER5です。

そのニーズ、あのウオツにHITSENER5の力。

HITSENER5活用事例

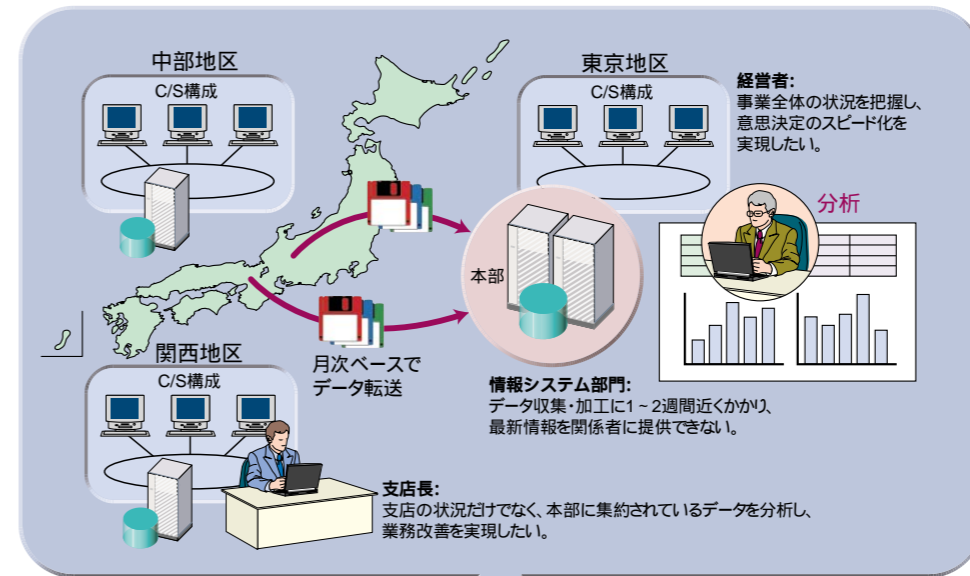
情報システム部門に社内エンドユーザーから寄せられる開発依頼は、そのほとんどが管理帳票の開発・メンテナンスが中心。これらの管理帳票は、週次・月次等で大量に印刷出力され、その帳票から拾い読みされたデータを加工して、社内の進ちょく会議などに報告されている。これらの資料は定型フォーマットに沿って報告されているため、問題点の把握やその解決を目的とした会議には必ずしも適切なものとは言えない。情報システム部門は、さまざまなエンドユーザーからのリクエストを抱えており、そのニーズにタイムリーに応えることができていない。

【課題】情報システム部門への開発依頼を削減し、運用コストの低減を図りたい。



【課題】集約した情報資産を各ユーザーに最適な形で提供し、企業力の底上げを図りたい。

HITSENER5活用事例

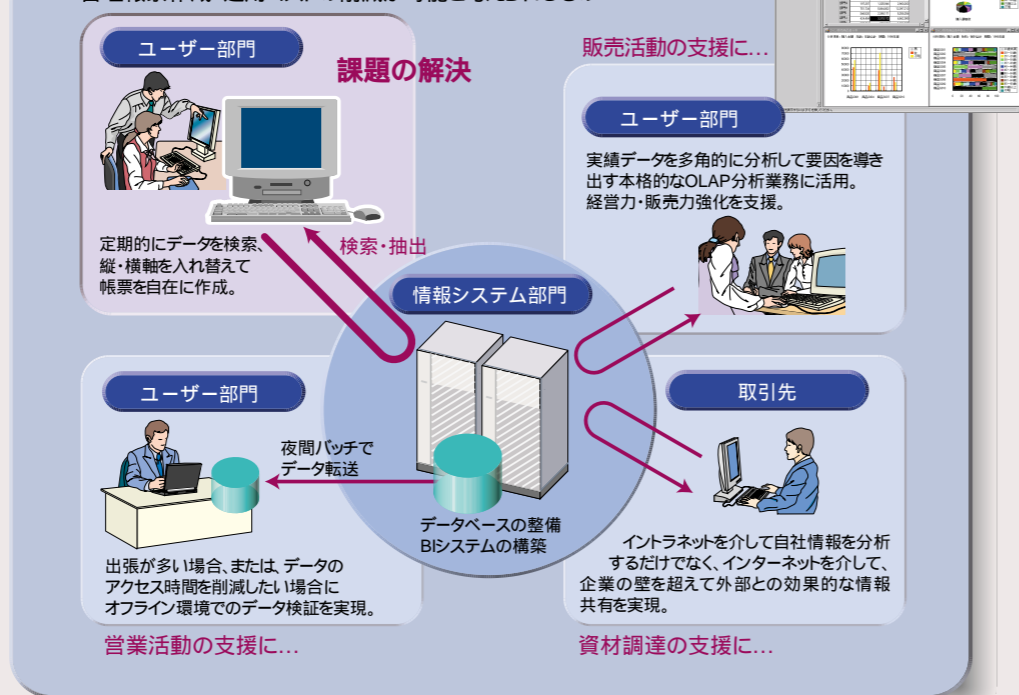


本部のサーバに蓄積している情報を加工し、本部の経営者・企画部門または支店のマネージャに毎週、経営情報（損益、予算比など）として提供しているが、データ加工に手間がかかり非効率。そこで、個人のニーズに合わせて情報を提供する企業ポータルを利用して、情報へのアクセス時間の削減を図り、業務の効率化を推進中。経営情報を共有化するが、社員の職務レベル（担当業務・職位・所属組織など）に応じて公開内容を制御したい。ポータル画面上にアップされている分析結果を利用して問題点や特異点の検証をスムーズに行いたい。

解決

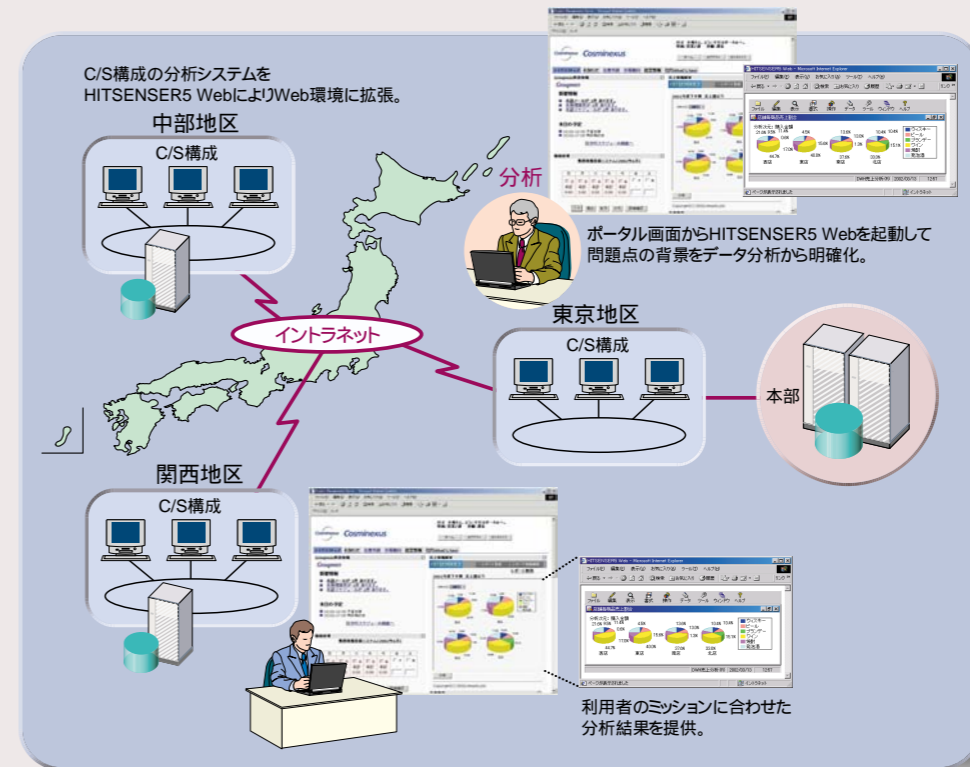
管理帳票は定型 / 非定型を問わず、情報システム部門に依頼することなく、ユーザーが必要な時に作成・出力することが可能となる。社内の進ちょく会議に使用する帳票の事前加工処理が不要、もしくは作業の軽減が可能となる。HITSENER5によりOLAP操作が可能となり、管理資料だけでは読み取れない問題点の把握も可能となる。情報システム部門は抱えているエンドユーザーからのリクエストを圧縮できるとともに、月次等の帳票出力を削減することができ、コスト削減を図ることができる。

管理帳票作成・運用コストの削減が可能と考えられるもの



OLAP : On-Line Analytical Processing
BI : Business Intelligence

解決



ETLツール「DataStage®」、データマート運用支援システム「HITSENER Data Mart Server」、HiRDBなどのRDB、統合システム運用管理「JP1」を利用して、複数拠点に分散されているデータの収集・加工・蓄積・運用を自動化できる。本部 / 企画部門で利用していたC/S構成の分析システムを HITSENER5 Web を利用してWeb環境に拡張することができる。社内外の情報資産の集約とパーソナライズを実現する企業ポータル構築基盤「Cosminexus Portal Framework」上で動作可能なHITSENER5 Portal Option for Cosminexusを利用して、利用者のミッションに合わせた分析結果の参照・更新ができる。ポータル画面からHITSENER5 Webを起動して問題点の背景をデータ分析から明確にできる。

ETL : Extraction, Transformation and Loading
RDB : Relational Data Base

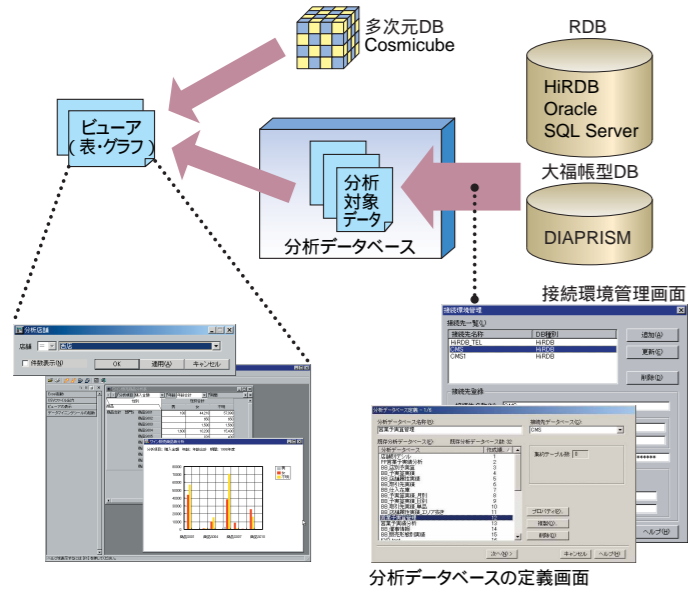
つまり、HITSENER5なら経営判断から最前線の業務まで、

あらゆるビジネスシーンでスピーディーな意思決定を支援できる。



分析環境の構築

HITSENSER5で分析を始める前に行う管理情報の設定、グループの作成とユーザーの登録、環境定義ファイルの配布と設定、分析データベース、分析対象データの作成などは、HITSENSER5のシステム環境を管理するためのツール「マネージャ」のユーティリティを利用します。環境設定を行う上で特別なSQL文や文法を理解する必要はありません。



多彩なデータベースにアクセス

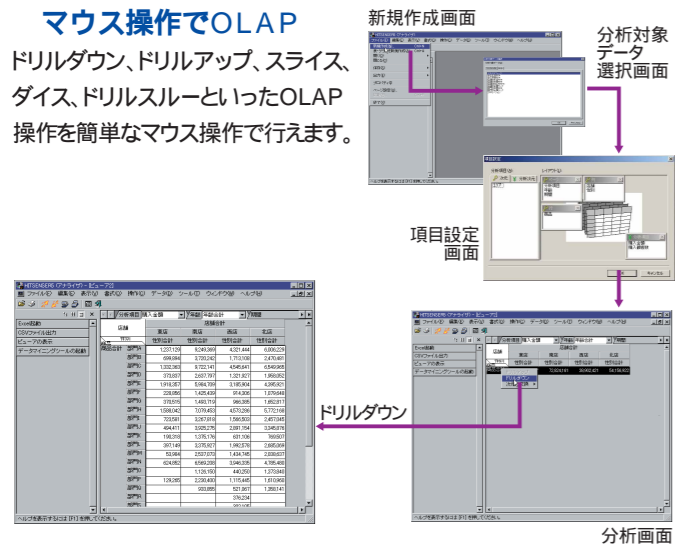
HITSENSER5は、RDBとしてHiRDB、XDM/RD、ORACLE、Microsoft® SQL Server、多次元DBとしてCosmicube、大福帳型DBとしてDIAPRISMにアクセスし、企業内に散在するさまざまなデータソースにアドオンすることができます。

ドラッグ&ドロップで分析軸の割り当て

分析対象データ選択画面から分析対象データ名を選択すると、分析項目の一覧を表示。そこでドラッグ&ドロップ操作をすることにより、分析項目を列/行/ページ軸へ割り当てることが可能です。

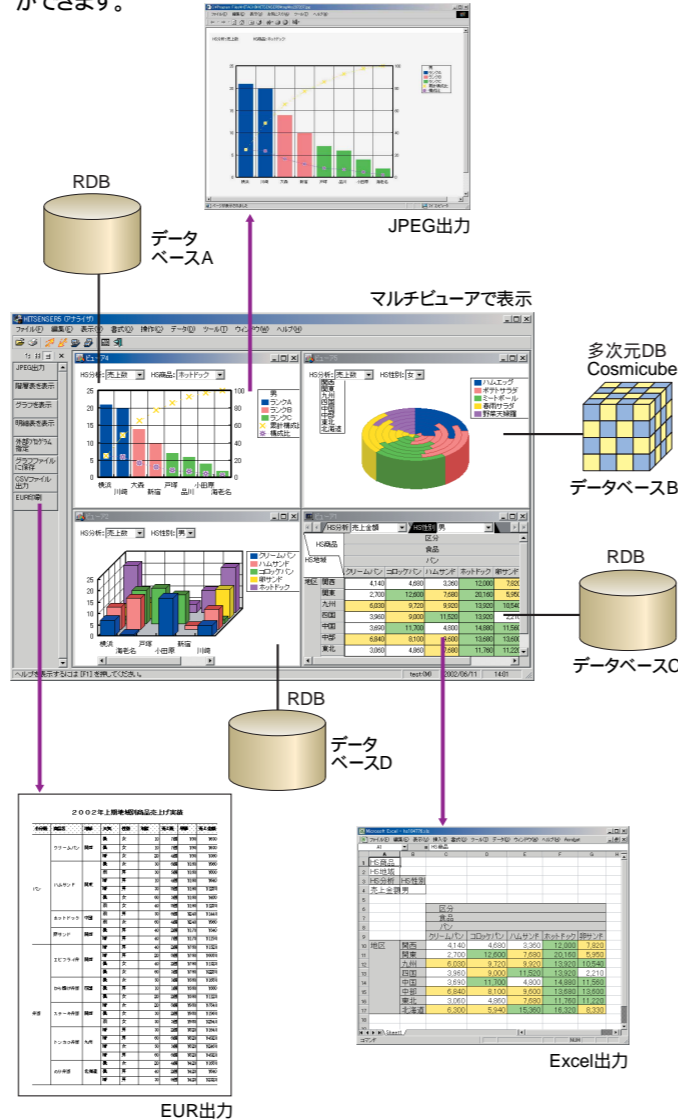
マウス操作でOLAP

ドリルダウン、ドリルアップ、スライス、ダイス、ドリルスルーといったOLAP操作を簡単なマウス操作で行えます。



マルチビューアと豊富な分析機能

HITSENSER5は、アクセスしたデータを階層表・明細表・グラフといったビューアを通して、分析者に直感的に把握できるビジュアルな表示が可能。階層表・グラフの相互変換も自由で、集計機能(合計/累計/構成比/平均/総合計/総平均)も多彩に装備しています。特異値のすばい発見を支援する強調表示やソート機能を利用したランキング表示もサポート。項目のカテゴリ化機能によりデータベースに影響を与えることなく、グループ別に分析項目をカテゴリ化できるので、分析者ごとに独自の分析画面を作成することができます。また、それぞれ異なるデータベースにアクセスしているビューアを同一ウィンドウ上に表示できるので、分析結果をさまざまな角度から検証することができます。

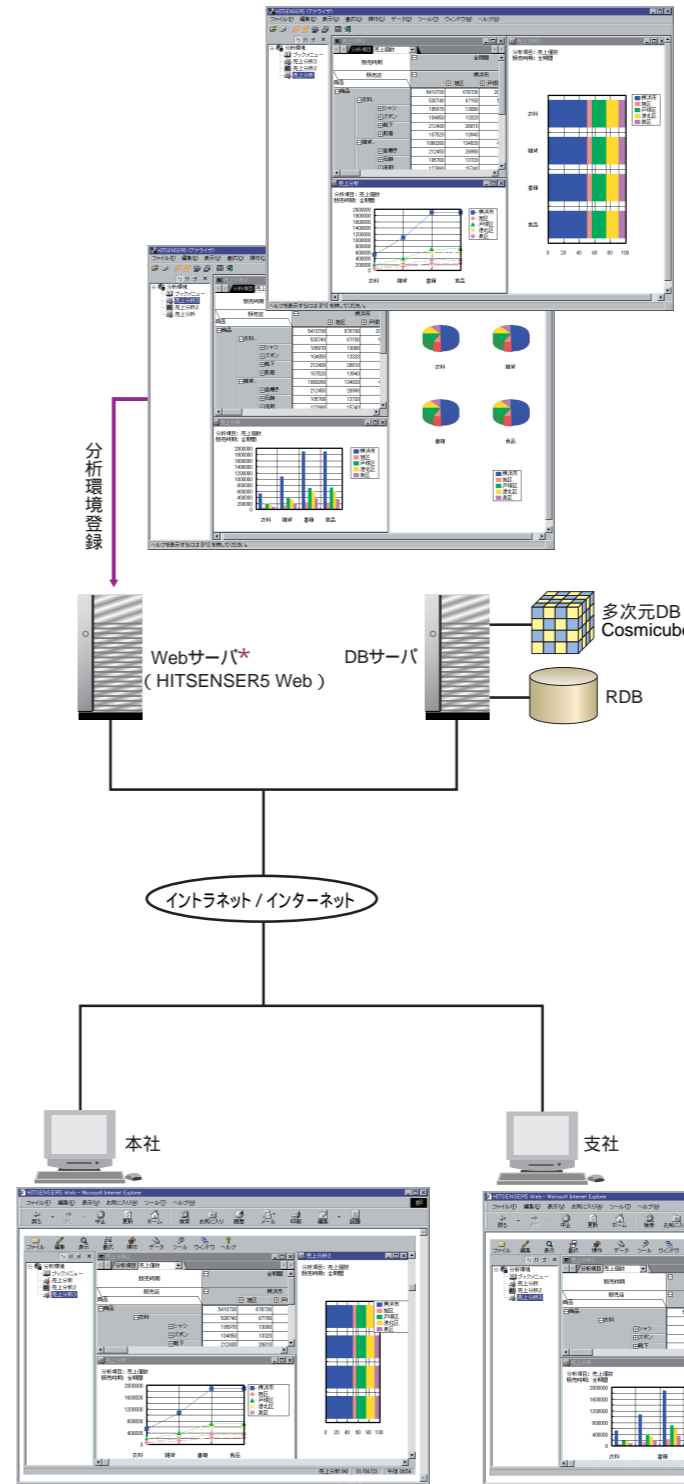


多彩なレポート出力

Microsoft® Excelとの連携機能により、分析結果をExcelに出力することができます。また、帳票システム構築支援「EUR」と連携することにより、日本独特の商習慣に即した形式の帳票を作成することができます。

全社規模のBIシステム構築を支援

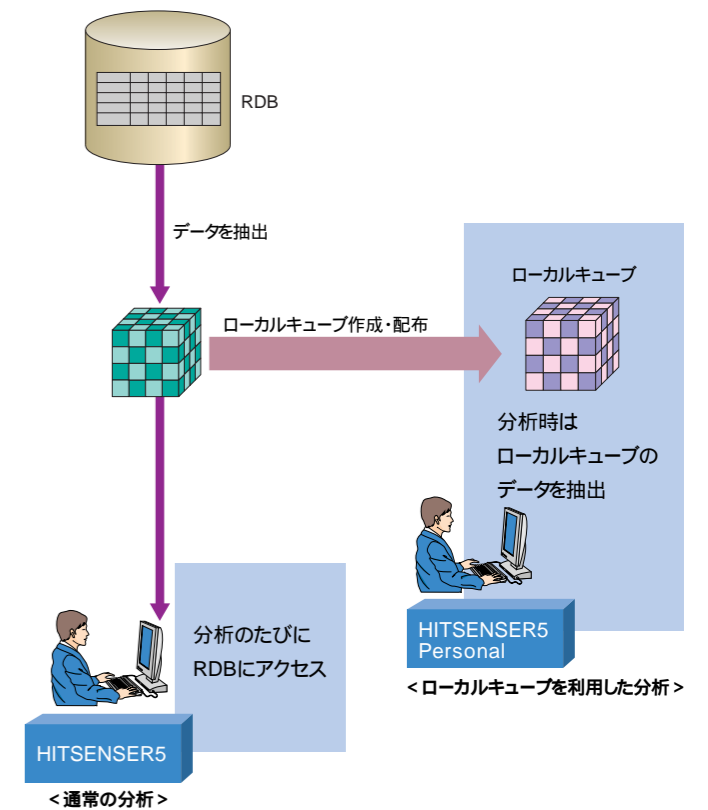
C/S版HITSENSER5とWeb版HITSENSER5 Webでは同等の機能を提供するため、HITSENSER5で作成した分析情報ファイルをHITSENSER5 Webでも利用可能です。これにより、システム規模に合わせてC/Sベースのシステム構成からWebベースのシステム構成に容易に拡張することができます。



オフライン環境でデータ分析

HITSENSER5 Local Data Optionは、RDBから抽出したデータをもとにローカルキューブを作成することができ、HITSENSER5 Personalによるスタンドアロン環境でのデータ分析が可能です。分析時にデータベースへのアクセスは発生せず、遠隔地からの利用や高負荷な回線利用により十分な応答性が得られない場合、またはモバイル環境で分析したい場合に有効です。また、統合システム運用管理「JP1」を利用してローカルキューブの定期的なリフレッシュを行い、最新データの翌朝配布、HITSENSER5 Personalでのデータ分析といった運用も可能です。

ローカルキューブの運用



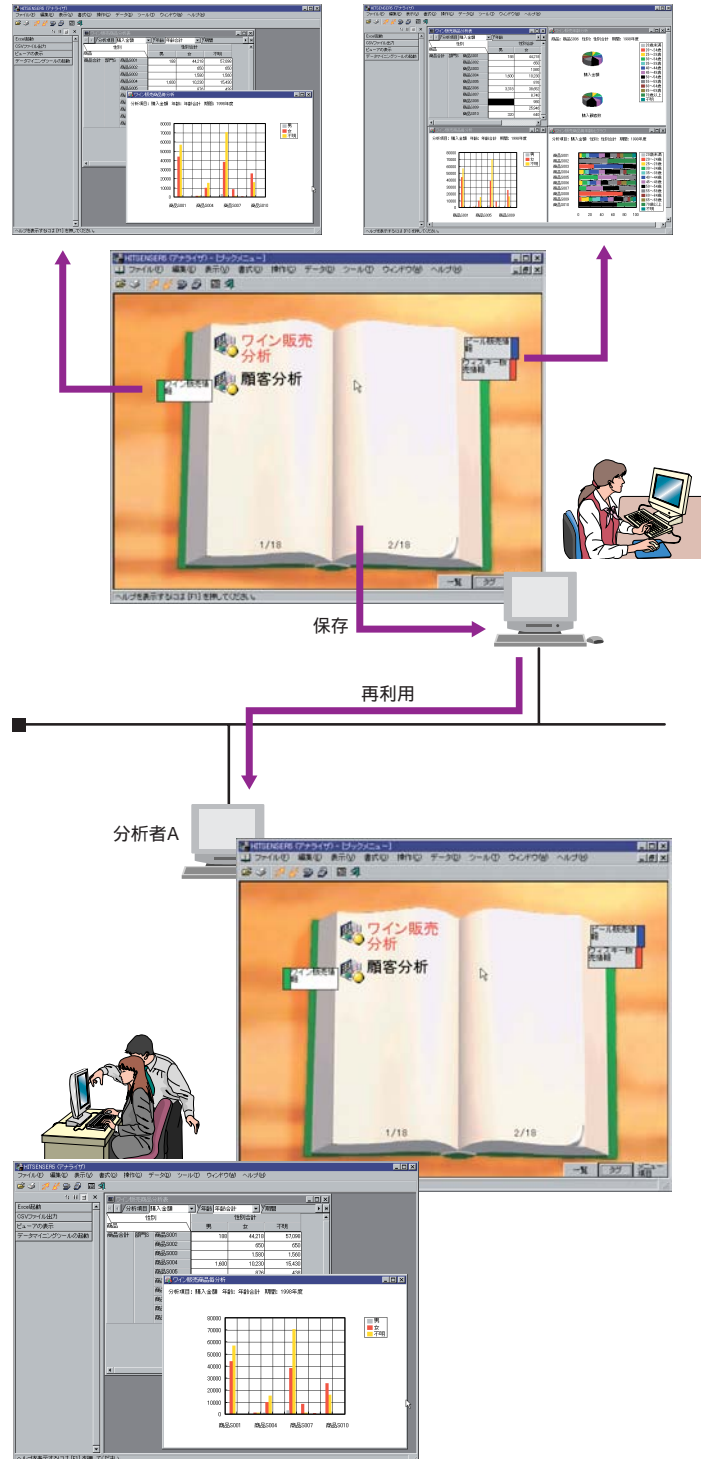
*稼働条件

Windows Server™ 2003の場合 : Internet Information Server 6.0
Windows® 2000の場合 : Internet Information Services 5.0
Windows NT®4.0の場合 : Internet Information Server 4.0



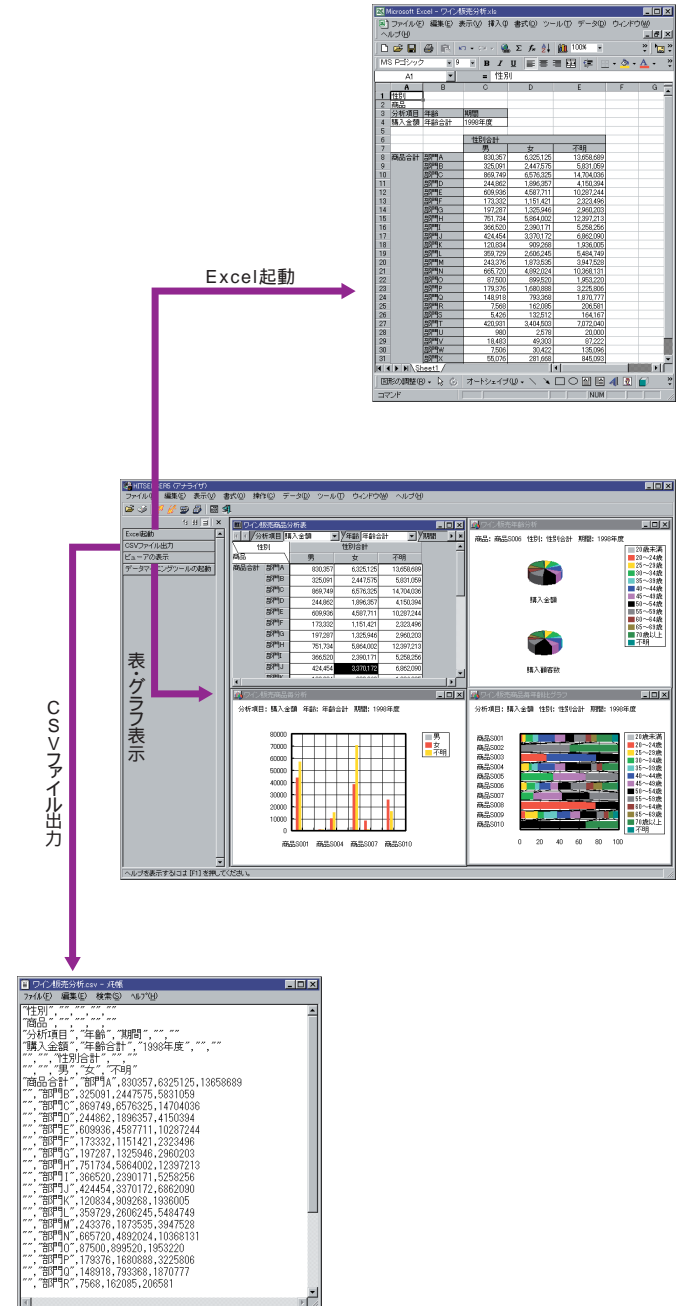
分析ノウハウの共有化と活用

コマンドや分析情報ファイルをブックメニューに複数登録することができるため、試行錯誤で作成した表・グラフを定型メニュー化できます。ブックメニューに登録された分析メニューの利用は、分析作業の簡略化を実現するだけでなく、分析ノウハウを共有化できるため、個人のスキルに依存しない問題発見-原因追求プロセスを実現します。



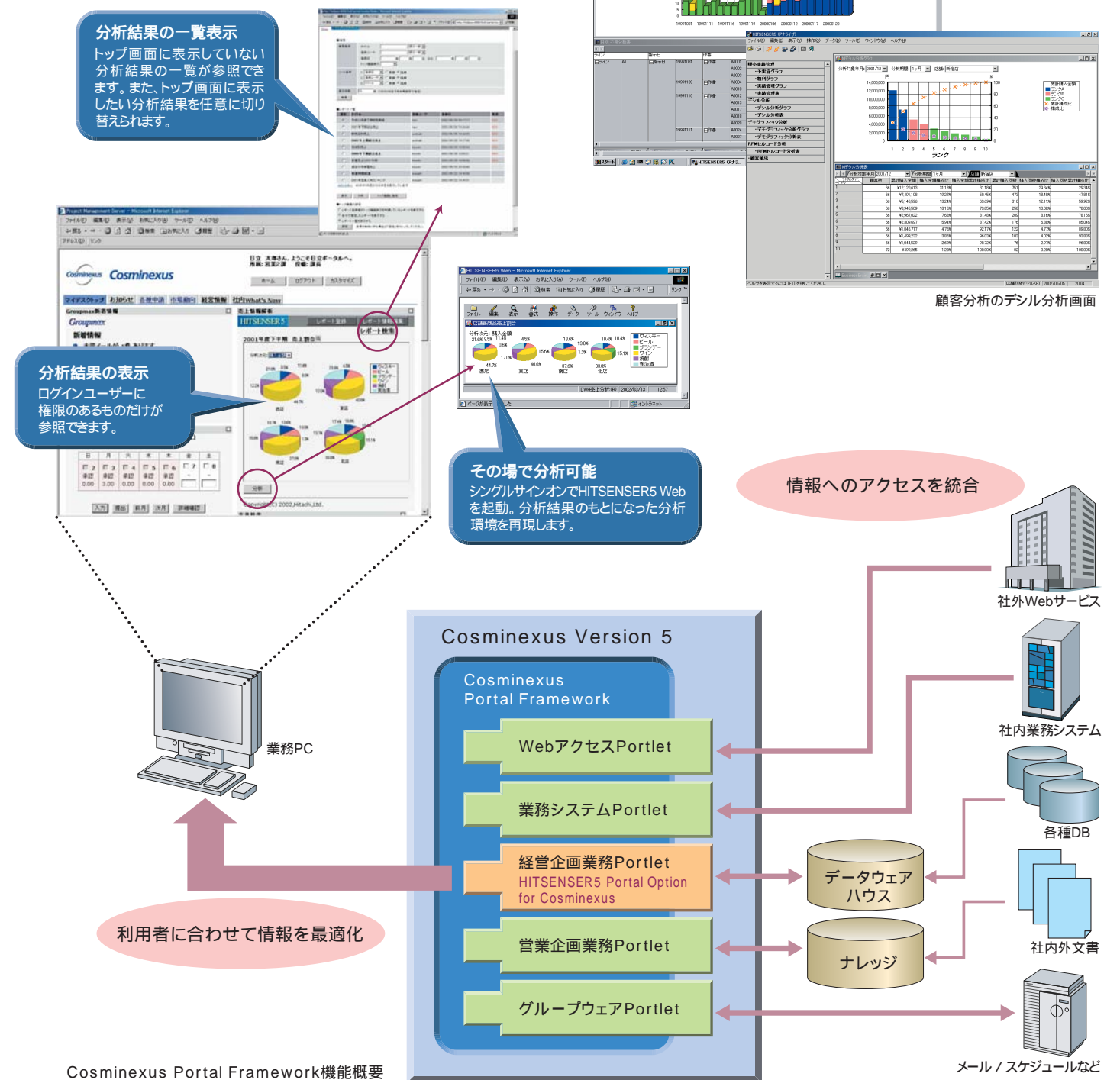
操作しやすい環境にカスタマイズ可能

コマンド/メニュー/ツールバーのカスタマイズが可能です。表やグラフの表示をボタンに割り当てることはもちろん、Microsoft®Excelなどのアプリケーションの起動コマンドをボタンに割り当てる事が可能です。操作しやすい分析環境は、分析結果を見るだけのユーザーが間違った操作をするのを防止し、簡単な分析操作を実現します。



企業ポータルで活用

HITSENER5で作成した分析結果をJPEG出力し、Webサーバを通じて企業ポータルに情報発信できる機能「HITSENER5 Portal Option for Cosminexus」を提供。この機能は、LDAPサーバと連携して細かな参照権限が設定でき、例えば、部課長などの意志決定者のみがポータル上で分析結果を参照し、さらなる分析が必要になった場合はシングルサインオンでHITSENER5 Webを起動することができます。なお、HITSENER5 Portal Option for Cosminexusは、企業ポータル構築基盤「Cosminexus Portal Framework」上で動作します。



各種分析業務の実現

顧客の購買履歴をもとに売れ筋商品の分析やプロモーション実施のための該当顧客の一覧を表示するといった顧客分析や、生産ラインの負荷具合、製品の故障率、製品別の受発注情報を管理するための生産管理ほか、あらゆるビジネスシーンで利用できます。

